

北村 陽太

同志社中学、同志社国際中学、立命館宇治中学 合格

僕が塾に通おうと思ったのは4年生の頃でした。その頃は受験なんて考えず遊んでばかりでした。5年生になって受験を決めてもまだ遊んでいていつも先生方に怒られていました。それでも先生方は諦めずに叱り続けてくれました。今思えば「先生が優しく甘ければいいな」と思っていた自分が情けないです。きっとあのとき甘くされていたら僕はきっと合格できなかったと思います。僕が合格できたのはあきれずに叱り続けてくれた先生方のおかげだと思います。ありがとうございました。

若松 日菜

南陽高校 サイエンスリサーチ科 京都橘高校 Sコース 合格

「初の受験生キブン」

高校に無事合格することができて、私はしんどいことも全部合格に繋がったのなら、やってきて良かったと思いました。

最初に受験生らしいと思ったのは夏休みでした。それまでは頭でわかっているけど実感がありませんでした。冬休みになって過去問を解いていく中で不安な気持ちになることもありました。

受験当日は、一発勝負なので私立高校の受験の何倍も緊張しました。高校の門をくぐる時はもう少しで始まると思い動きもかたくなりました。

合格発表の日は結果を見るのが怖かったのですが、合格がわかった瞬間は飛び上がって喜びました。

三年後のセンター試験では「高校受験はこんなだったな」と思い出して頑張りたいです。

東泊 由華

京都すばる高校 企画科 京都聖母学院校 合格

「受験で学んだこと」

私は志望校に合格するために3年間とても頑張っていました。そして、行きたい高校に合格することができました。

私がこの受験で学んだことや大切だと思ったことが2つあります。

1つ目は、最後まであきらめないことです。私は何事も諦めずにはしていますが、受験に対しては不安が多く、辞めたくることが何度もありました。しかし同じ塾の同じ志望校の人を見て絶対負けたくないと思い最後までやりきることができました。

2つ目は、自分の志望校についてよく知ることです。私は受験勉強が3年から始まっていろいろな高校を見て志望校を決めました。それから志望校について詳しく調べました。自分の志望校をよく知らないと、勉強が続かないと思ったからです。だから、私はこれからも、この受験勉強で学んだことや大切だと思ったことを高校での勉強に活かしていきたいと思っています。

猪狩 はな

京都すばる高校 企画科 京都聖母学院高校 合格

「やればできた」

私の定期テストの点数は常に40点台。最低点数は29点でした。中学2年生の後半から塾に通いました。初めは全然授業に付いていくことができず、体調を崩し塾も休むことが増えました。中学3年になるときに復活し、また通い始めました。3年生の定期テストでは70点台や80点台もできました。夏になると志望校も決定し、夏休みは自分が生きてきた中で一番勉強しました。合宿での模擬入試は失敗に終わりましたが、それがまた勉強する糧になりました。日が過ぎるのが早く感じられ、あっという間に入試当日がきました。自分がやってきたことを最大限に出すことが大事だとはわかっていたのですが、緊張で問題が頭に入ってこなくなり、すごく焦りました。結果は合格でしたが私の場合は、面接で点数をとったので高校生活は勉強をもっと真面目に二度と同じ失敗をしないようにしようと思いました。

馬場 麻由香

京都女子高校 II類型 帝塚山高校 女子英数コース 合格

はっきりという勉強は好きではない。むしろ嫌いという分野に入る。だけどその勉強への思いは私の性格の一部から変化したものでもある。関心のない物事には全く興味が湧かずやる気はゼロ。学校や塾から帰るとすぐに掴むスマートフォン。学校の提出物や課題があるにも関わらず、睡魔と仲良く夢の中。それから始まる負のスパイラル……。実をいうと私は未だにそこから抜け出せないでいる。だがそんな私でもこの体験記を書くことができている。

小学六年生の三月、私はこの塾に入った。当時は目をきらきらさせて「勉強頑張ろう」と意気込んでいたのを覚えている。だがこのあと気持ちは急変する。これには、三日坊主も目を開き、口を開きとびっくり。デメキンの場合目を開き過ぎて落っことした目を拾うのも忘れて、口をバクバクさせるだろう。そんな速さで急降下。行き着く先はスマートフォン。そのような気持ちを改心させることもなく中学三年生を迎えた。そこからは早いもので、あっという間に季節が巡り、気がつく受験一ヶ月前前。寝て起きると一週間前、前日、当日、試験終わり。私が試験が終わると同時に「落ちた」と思った。

何故試験に落ちたと思ったかという理由はたくさんある。一番大きいのは勉強をこななかったという事実。今更後悔しても遅いとは知っている。でもどうしても考えずにはいられなかった。どうして勉強をこななかったのか。どうして目先の楽しみだけにとらわれ続けたのか。どうして自分の大切な未来のために行動しなかったのか。

結果的には私は受験した2校とも合格はしたのだが、私の受験は失敗した。私が考える受験とは、ただ合格判定をもらうために試験を受けるのではない。第一勉強は大事だ。私はそれをおろそかにしたので失敗した。にも関わらずあーやこーや言うわけは、きっと私が受験勉強を通して『自分』を知ったからなのだろう。自分を知る。つまり自分自身のことを学ぶことは勉強の工夫にも繋がる上、これから先、様々なことに役立つだろう。ただ知識をつめるだけではなく、自分と正面から接するべきである。なので私は受験において学問をすすめる。

中谷 天音

西京高校 エンタープライジング科 京都橘高校 Sコース 合格

私は、中学三年の夏に立志館進学教室に通い始めました。入試までの時間もあまりない中途半端な時期に入ったので、ちゃんと授業についていけるか、志望校に合格できるだけの実力を入試までに身につけられるかなど、不安なことはたくさんありました。しかし、アットホームな雰囲気と先生方の熱心な授業のおかげで、しっかりと学習することができました。

夏期合宿では、自分と同じレベルの高校を志望する人たちと一緒に授業を受けることで、競争意識が高まり、「もっとこんな問題ができるようになろう」と受験勉強に対する意欲がわいてきました。イベントなどでリフレッシュしつつも一分も時間を無駄にすることなく勉強できる三日間でした。

それから入試が近づくと、授業時間外も塾に行き、問題集や過去問を解き、わからない問題を先生方に教えてもらいました。そうやって積み重ねたことが合格に繋がったと思います。先生方、本当にありがとうございました。

茶原 真実

城南菱創高校 普通科 大谷高校 バタビアコース 合格

私は塾には中学3年生の夏期講習からと遅めに入塾しました。初めての塾で何時間も机と向き合う習慣が無く勉強も嫌いだったので、正直しんどかったです。しかし、だからこそ前期選抜で受かろうと夜11時まで残らせてもらったり、学校からそのまま塾で自習したりしていました。合格発表の日、自分の番号が掲示板に載っていたとき、今までで一番嬉しくて嫌なことから逃れるために嫌なことをするのはこの喜びのためなんだなと感じました。

塾ではわかりやすい授業以外にもたくさんの入試に関わることを教えてくださって本当に感謝しています。今までありがとうございました。

宮部 拓人

奈良工業高等専門学校 電子制御工学科 東山高校 バスカル 近畿大学附属高校 特進文理

僕が、中学三年生という一年間で一番勉強面において成長できたと感じたのは、夏期合宿でした。始まる前は面倒だとかそういうふう感じていましたが、いざ始まると、レクリエーションは楽しいし、授業は違う校舎の先生が多く、興味深い話やおもしろい話を交えての授業だったので、一秒も飽きずに楽しんで受けられましたし、その後の勉強のモチベーションが高まり、何回も行きたいと思える合宿でした。模擬入試で合格したときは、実際に合格したときと同じくらい嬉しかったです。そして実際の入試で合格したときは今まで頑張ってきてよかったと思いました。面倒で手のかかる生徒でしたが、合格までひっぱってくださった先生方には感謝しかありません。ありがとうございました。

松尾 雄大

菟道高校 大谷高校 バタビア・コア

「塾のおかげで…」

僕がこの塾に入ったのは、中学1年生の時でした。その時は勉強をするのがとても嫌で、高校のこともあまり考えたことはありませんでした。しかし、3年生になってその考え方が変わりました。きっかけはこのままじゃ志望校にいけないことに気がついたことでした。そこから、先生方との猛勉強が始まりました。夜12時まで教えて頂くこともありました。そして受験生にとって重要な夏は、毎日10時間以上も勉強しました。もし塾がなく、熱心に教えて頂ける先生方がいなければ、ここまでできませんでした。そこからは、成績も思い通りに上がり、受験当日はあまり心配もなく受けることができました。ここまで自信を付けてくれたのもこの塾でした。3年間いろいろとご迷惑をおかけしましたが、親身になって支えてくださり、本当にありがとうございました。

合格おめでとう！！

